

報道関係各位



2026年6月18日
日本臓器製薬株式会社

新執行役員就任のお知らせ

日本臓器製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：小西 崇文、以下「日本臓器製薬」）は、2026年6月18日付で和田 康史が執行役員 Chief Scientific & Strategic Officer に就任したことをお知らせいたします。

日本臓器製薬は、強固な外部連携によって、世界の優れた創薬資産の獲得から開発、上市、そして次の挑戦へとつながる新薬創出の好循環システムの構築を進めております。製薬各社で研究から臨床開発、さらに事業開発と幅広い業務範囲を経験してきた人材を、R&D 組織の執行役員に据えることにより、今後の日本臓器製薬の成長をけん引するパイプラインの拡充を目指してまいります。

【プロフィール】 和田 康史（わだ やすふみ）



2010年3月、大阪大学大学院薬学研究科博士後期課程修了。2010年4月、武田薬品工業株式会社入社。創薬研究者として中枢神経、免疫・炎症、がん領域の探索研究に従事し、複数の臨床候補化合物の創出に携わる。米国ニューヨークに駐在し、海外大学との共同研究プロジェクトも担当する。2018年1月、ネオファーマジャパン株式会社入社。非臨床毒性試験および臨床開発を担当し、グローバル治験の企画・推進や適応拡大戦略の立案、自社研究所長として研究所の立ち上げを主導する。2020年4月、CSL ベーリング株式会社入社。早期臨床開発のプロジェクトマネージャーとして日本における開発戦略の策定をリード。その後、R&D Innovation Japan において新薬候補のインライセンスを担当し、日本をはじめアジア地域の案件評価および事業開発に従事する。2026年5月、日本臓器製薬入社。

【日本臓器製薬について】

1939年の創業以来、医療従事者の期待と信頼に応えることを目指し、医薬品の研究開発から製造、販売まで一貫して手掛けてきました。長年にわたり培った知見と経験を基盤に、整形外科、中枢神経などの疾患領域や希少疾患分野において、各領域の先駆者と連携し、革新的な治療法の創出に挑戦しています。また、これらの治療法が医療現場で適切に実装され、継続的に患者さんへ届けられるよう取り組み、医療へのさらなる貢献を目指しています。「次世代に続く医療ソリューションを創出し、世界の人々の健康に貢献する」というミッションのもと、サイエンスを軸として、より良い医療と社会の実現に向けた挑戦を続けています。

詳細は <https://www.nippon-zoki.co.jp> をご覧ください。

<お問い合わせ先>

日本臓器製薬株式会社 コーポレート・コミュニケーション担当

TEL. 06-6203-0441（代表） E-mail : corp-branch@nippon-zoki.co.jp